▲昭和34年当時のお二人

作りも兼ねて、二人で散歩を雪のない季節は、早朝に健康二人で楽しむ共通の趣味です。とそれぞれの趣味のほかに、 の楽しみとは、忠さんの日曜は和子さんを見詰めます。そ 過ごしているなぁ」と忠さんここ数年が一番二人で楽しくつと言われてもね…。だけど、 っという間に五十年経ったと育てをするのが精一杯で、あ手伝いがあったし、三人の子 いうのが正直な感想だそうで 夫婦円満のこつを伺うと、仲の良い健康夫婦 「だから、 和子さんの園芸や手芸みとは、忠さんの日曜 勤務明けには農作業の 夫婦円満のこ

> 健康の秘けつかな」と忠さん。もおいしく食べていることが です。 「 な病気をしたことがないそう フも始めました。 また、二人とも今まで大き 好き嫌いがなく、

そのためには、自分も楽しみ、お互いに健康で元気なこと。 子夫妻の夫婦円満と健康のこ というのも納得できます。 きました。五十年間一度も大するほど仲の良さが伝わって 今が新婚ではないかと勘違いお二人の話しぶりからは、 きなけんかをしたことがない 一人でも楽しむ。これが、丸 U

おつかしの写真館 ていね (昭和20年代~30年代)





◀昭和30年ころ 手稲駅北側の風景 (左手は樽川通)



▲昭和20年代 前田農場の作業風景

◀昭和39年 東京オリンピックの聖火 リレーを受け渡す風景(手稲本町)